

耐熱性プリンヌクレオシドホスホリラーゼ (60°C)

Cat. No. CEGZ-6391

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要 60°Cまでの熱安定性を有し、分子量27.5 kDaの組換え細菌由来プリンヌクレオシドホスホリラーゼ。

用途 可逆的プリンヌクレオシドホスホロリシスおよびリン酸 γ 出アッセイにおける研究用途およびin vitro用途向け。ほぼリン酸フリーの製剤が求められる場合に使用する。

別名 PNP; PNPase; Pu-NPase; PUNP; NP; アデノシンホスホリラーゼ; イノシン-グアノシンホスホリラーゼ; プリンヌクレオシド; リン酸リボシルトランスフェラーゼ

製品情報

種 細菌性

由来 組換え大腸菌

形態 液体

EC番号 EC 2.4.2.1

CAS登録番号 9030-21-1

分子量 27.5 kDa

熱安定性 60°Cまでの耐熱安定性を有する

特異性 プリンリボヌクレオシドおよびプリン2-デオキシリボヌクレオシド

基質 プリンリボヌクレオシドまたはプリン2-デオキシリボヌクレオシド; リン酸塩

反応 プリンリボヌクレオシド+リン酸=プリン+ α -D-リボース1-リン酸 プリン2-デオキシリボヌクレオシド+リン酸=プリン+2-デオキシ- α -D-リボース1-リン酸

備考 MESGリン酸 γ 出アッセイ向けに、二重脱塩処理を施した、リン酸含量をほぼ排除したバージョンをご用意しています。組換えタンパク質は大腸菌(E. coli)で産生し、加熱処理およびHis6タグを用いたアフィニティクロマトグラフィーにより精製しています。

使い方 研究用およびin vitro (試験管内) 使用に限定。

保管・発送情報

保存方法 4°C